

ウェブアクセスログデータを用いた閲覧者の行動解析

200520903 山本浩平

(経営・政策科学専攻)

指導教員

住田 潮

筑波大学大学院システム情報工学研究科

修士(ビジネス) 修士論文

平成 19 年 1 月 26 日

Analysis of Users' Access Patterns based on Web Access Log Data

要旨

インターネットが普及し、eコマースが世の中の一般的な購買手段になった現在、ネット上のユーザーの動きに対してリアルタイムに対応できる新たなマーケティング手法の研究が行われている。本研究ではEコマースサイト（以下、ECサイト）に訪問してくる閲覧者の購買意欲をサイトのコンバージョンへの達成具合を基に目的ページに至らずに離脱した層(L1)、目的ページには到達したものの購買には至らなかった層(L2)、実際に購買にまで至った層(L3)の3つのレベルに分類し、その上で、各レベルの閲覧者が最初に訪問してからの3PVの経路を基に訪問してくる閲覧者がどのレベルに属するのかを予測するアルゴリズムを構築した。そして、ホームページサイト「シビラ」のアクセスログデータを用いて実際に閲覧者の購買意欲がどれほど判定できたかを実験した。

目次

第 1 章	序論	1
1-1	背景と目的	1
1-2	論文構成	2
第 2 章	データ概要	3
2-1	アクセスログデータ	3
2-2	利用データ	4
2-3	データ加工	7
2-3-1	サイト訪問者の分類	7
2-3-2	ページカテゴリの設定	9
2-4	基礎分析	10
2-4-1	ユーザーの訪問頻度と閲覧 PV 数	10
2-4-2	レベル別ユーザーの最初 3 PV の閲覧行動分析	13
2-5	データの分割	15
第 3 章	分析手法	16
3-1	先行研究	16
3-2	Characteristic Pattern の判別手法	18
3-3	判別アルゴリズム構築	19
3-4	パラメータの推定	21
第 4 章	分析結果	22
4-1	試行回数の決定	22
4-2	分析結果	22
4-2-1	Type 1	22
4-2-2	Type2	23
4-2-3	Type3	24
4-2-4	考察	24
4-3	新たなモデルの作成	25
4-3-1	Type4(F3PV)	26
4-3-2	Type4(F4PV)	27

4-3-3 Type4(F5PV)	27
4-3-4 考察	28
第 5 章 結論	30
※参考文献	32
謝辞	33
付録 A	34